

成長期野球選手のスポーツ障害予防



【池袋キャンパス】健康メディカル学部 理学療法学科 講師

吉本 真純 Yoshimoto Masumi

URL: [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード: 成長期・野球・投球障害予防・動作解析・超音波撮影装置



研究の概要

SDGs 目標 3: すべての人に健康と福祉を

成長期野球選手の投球障害は、不良な投球動作が原因の一つである。さらに、成長期は成人と比較し身体が発育途中であるため、投球動作が投球ごとに不安定になりやすく、また本来良好な投球動作であっても投球数が増加するに伴い不良な投球動作へ変化する。成長期野球選手における投球障害の原因を多角的視点から解明し、さらに予防していく取り組みをおこなっている。

1. 三次元動作解析装置を使用した投球動作解析

実際の現場に赴き、ハイスピードカメラを使用した投球動作解析をおこなっている。今後は、マーカーレスモーションキャプチャーシステムの導入を検討している。

2. 超音波撮影装置を使用したメディカルチェック

実際の現場で野球選手の肩関節・肘関節だけでなく、全身のチェックをおこなう。今後は組織の弾性評価等も実施していきたいと考えている。

3. 小中学生野球チームに帯同してのトレーナー活動

現場ならではの意見を聞き、ニーズに合わせた成果を提供することを目指している。



1. 三次元動作解析装置を使用した投球動作解析



2. 超音波撮影装置を使用したメディカルチェック



3. 小中学生野球チームに帯同しトレーナー活動

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

成長期野球選手の投球障害予防に向けて、三次元動作解析や超音波撮影装置を使用した研究に取り組んでいる。研究室ベースでのデータ収集ではなく、現場に赴き動作解析や超音波撮影をおこなっているため、多角的視点から、成長期野球選手の投球障害予防が期待できる。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【科研費】若手研究（20K19575）「中学生野球選手の反復投球による投球障害予防プログラムの確立と普及」

【論文】

- ・「Association of Head-Neck Rotation With History of Pitching-Related Elbow Pain in Youth Baseball Players.」
- ・「中学生野球選手における 75 球の反復投球が関節可動域、筋柔軟性に与える影響」